

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年11月7日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東  
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 明彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 高橋 博史 TEL 03-5778-7777(代)  
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	90,729	△21.9	36,288	△20.2	36,740	△19.9	26,235	△20.0
2024年3月期中間期	116,190	66.1	45,460	72.1	45,863	70.9	32,787	53.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 25,734百万円(△21.9%) 2024年3月期中間期 32,935百万円(64.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 119.54	円 銭 117.94
2024年3月期中間期	円 銭 113.11	円 銭 111.88

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 312,543	百万円 266,313	% 84.7
2024年3月期	百万円 292,119	百万円 251,579	% 85.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 264,723百万円 2024年3月期 249,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 150.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 40.00			
2025年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期末は当該株式分割前、2024年3月期末は当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割を考慮した場合の2024年3月期の年間配当金は、80円00銭であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	△9.6	61,000	△15.9	62,000	△15.3	42,000	△21.9	191.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	260,000,000株	2024年3月期	260,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	40,390,946株	2024年3月期	40,651,855株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	219,474,433株	2024年3月期中間期	289,875,034株

- (注) 1. 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式 (2025年3月期中間期 1,320,000株、2024年3月期 1,350,000株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式 (2025年3月期中間期 1,334,754株、2024年3月期中間期 287,705株) が含まれております。
2. 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり、緩やかな回復が続くことが期待されているものの、海外景気の下振れや、物価上昇、中東情勢などが景気下押しリスクとして懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界では、スマートパチンコ機 (以下、スマパチ) を対象にゲーム性の拡充が実施され、新たなゲーム性を有した商品が2024年7月から複数登場しており、注目を集めております。スマートパチスロ機の登場により活性化したパチスロ市場と同様に、今後、スマパチのヒット機種が登場・普及により、パチンコ市場の活性化に繋がるものと期待しております。

このような状況の中、当社グループでは「フィーバー機動戦士ガンダムユニコーン 再来-白き一角獣と黒き獅子-」の従来機 (P機) とスマパチを同時発売し、販売については従来機がメインとなりましたが、導入後の人気・評価においては新たなゲーム性であるラッキートリガーと「超デカSTART」を搭載した特徴的なゲーム性を有するスマパチが好評を博しており、第3四半期に増産を行うことを決定しております。一方、パチスロ機においては、当社グループの複数の商品がパチスロ市場の稼働を牽引し、当社グループの存在感が高まる中、新規3タイトルの販売に加え、好調な稼働実績を残している複数機種の増産を行ったことにより、順調に販売台数を伸ばすことができました。

以上の結果、売上高907億円 (前年同期比21.9%減)、営業利益362億円 (同20.2%減)、経常利益367億円 (同19.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益262億円 (同20.0%減) となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高379億円 (前年同期比53.7%減)、営業利益158億円 (同56.6%減)、販売台数83千台 (前年同期は167千台) となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバーマクロスフロンティア5」 (2024年4月)、「フィーバー機動戦士ガンダムユニコーン 再来-白き一角獣と黒き獅子-」 (2024年8月) であります。

当中間連結会計期間においては、新規タイトルが3タイトル (前年同期は5タイトル) に留まったことに加え、前年同期の「フィーバー機動戦士ガンダムSEED」の5万台を超えるヒットの反動などにより、前年同期に比べ大幅に販売台数が減少しておりますが、通期販売台数予想 (247千台) に向けて概ね計画通り進捗しております。

#### (パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高392億円 (前年同期比80.8%増)、営業利益232億円 (同102.7%増)、販売台数80千台 (前年同期は48千台) となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「Lパチスロ 戦姫絶唱シンフォギア 正義の歌」 (2024年7月)、「Lパチスロ かぐや様は告らせたい」 (2024年9月) であります。好調な稼働実績を残している「パチスロ からくりサーカス」をはじめ、複数タイトルの増産を行っております。

#### (補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高132億円 (前年同期比8.8%増)、営業利益10億円 (同3.1%減) となりました。

#### (その他)

その他につきましては、売上高2億円 (前年同期比45.5%増)、営業利益84百万円 (同13.8%増) となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は3,125億円であり、前連結会計年度末と比べ204億円増加しました。これは主に、有価証券が150億円減少となりましたが、現金及び預金が254億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」を含む）が51億円、商品及び製品が30億円、原材料及び貯蔵品が14億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は462億円であり、前連結会計年度末と比べ56億円増加しました。これは主に、未払金（流動負債「その他」を含む）が26億円減少となりましたが、支払手形及び買掛金が66億円、未払法人税等が13億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ147億円増加しました。これは主に、配当金の支払いを110億円計上した一方、親会社株主に帰属する中間純利益を262億円計上したことによるものであります。この結果、純資産は2,663億円となり、自己資本比率は0.8ポイント減少し、84.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	130,441	155,907
受取手形、売掛金及び契約資産	23,350	21,990
有価証券	74,999	59,992
商品及び製品	510	3,519
仕掛品	705	319
原材料及び貯蔵品	14,553	15,996
その他	6,913	13,382
貸倒引当金	△9	△14
流動資産合計	251,465	271,093
固定資産		
有形固定資産	26,630	27,307
無形固定資産		
その他	185	173
無形固定資産合計	185	173
投資その他の資産		
投資有価証券	6,601	5,869
その他	7,286	8,121
貸倒引当金	△48	△22
投資その他の資産合計	13,838	13,968
固定資産合計	40,654	41,449
資産合計	292,119	312,543
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,444	14,046
未払法人税等	10,311	11,648
賞与引当金	847	859
株主優待引当金	162	162
その他	12,586	10,341
流動負債合計	31,352	37,058
固定負債		
株式給付引当金	489	454
退職給付に係る負債	5,128	5,093
資産除去債務	76	76
その他	3,493	3,547
固定負債合計	9,187	9,171
負債合計	40,539	46,230

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	256,751	271,801
自己株式	△48,686	△48,375
株主資本合計	246,654	262,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,240	2,733
退職給付に係る調整累計額	△32	△25
その他の包括利益累計額合計	3,208	2,707
新株予約権	1,716	1,590
純資産合計	251,579	266,313
負債純資産合計	292,119	312,543

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	116,190	90,729
売上原価	51,687	36,516
売上総利益	64,502	54,212
販売費及び一般管理費	19,042	17,924
営業利益	45,460	36,288
営業外収益		
受取利息	34	50
受取配当金	185	208
その他	195	198
営業外収益合計	415	457
営業外費用		
投資事業組合運用損	9	0
その他	3	4
営業外費用合計	12	4
経常利益	45,863	36,740
特別利益		
固定資産売却益	8	-
投資有価証券売却益	426	-
特別利益合計	434	-
特別損失		
固定資産売却損	7	-
固定資産廃棄損	-	1
減損損失	-	113
特別損失合計	7	114
税金等調整前中間純利益	46,290	36,626
法人税、住民税及び事業税	13,548	11,054
法人税等調整額	△44	△663
法人税等合計	13,503	10,391
中間純利益	32,787	26,235
親会社株主に帰属する中間純利益	32,787	26,235



## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	32,787	26,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	△507
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	148	△501
中間包括利益	32,935	25,734
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	32,935	25,734
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	46,290	36,626
減価償却費	1,172	1,074
減損損失	-	113
引当金の増減額 (△は減少)	1,169	△43
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	80	△25
受取利息及び受取配当金	△219	△258
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,352	1,360
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,808	△4,065
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,184	6,601
投資有価証券売却損益 (△は益)	△426	-
その他	△3,049	△8,308
小計	34,656	33,074
利息及び配当金の受取額	171	233
法人税等の支払額	△18,714	△9,683
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,113	23,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△25,000	-
有価証券の償還による収入	30,000	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,731	△2,158
投資有価証券の売却による収入	508	-
貸付金の回収による収入	2	2
その他	△272	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,506	△2,155
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△29,306	△0
自己株式の売却による収入	1,550	25
配当金の支払額	△5,225	△11,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,981	△11,009
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,361	10,459
現金及び現金同等物の期首残高	252,609	205,440
現金及び現金同等物の中間期末残高	239,247	215,900

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	82,107	21,686	12,215	116,010	180	116,190	—	116,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	82,107	21,686	12,215	116,010	180	116,190	—	116,190
セグメント利益	36,515	11,483	1,109	49,108	74	49,182	△3,721	45,460

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,981	39,200	13,285	90,467	261	90,729	—	90,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	37,981	39,200	13,285	90,467	261	90,729	—	90,729
セグメント利益	15,841	23,272	1,074	40,187	84	40,272	△3,984	36,288

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。